

土佐光起 生誕400年 近世やまと絵の開花 —和のエレガンス—

2017年9月2日(土)ー10月1日(日)



A



B



C



D



E



F

- A. 土佐光起 《源氏物語繪巻》(部分・「帯木」) 大阪青山歴史文学博物館
 B. 土佐光起 《瀟宮女御像》(部分) 個人
 C. 土佐光成 《土佐家業代肖像・土佐光起(勇光院殿)像》(部分) 京都国立博物館
 D. 土佐光起 《春秋花鳥図屏風》 公益財団法人額川美術館
 E. 土佐光起 《松に猿図襖》(部分) 悲田院(京都)
 F. 土佐光起 重要文化財《大寺縁起》(下巻・部分) 開口神社(大阪)

「やまと絵」(大和絵)は、四季の自然、そこに生きる人や生き物を優美な線と色彩で描く日本の伝統的な絵画様式です。古代以来のやまと絵の伝統を継承した土佐派は、室町時代には宮廷の絵画制作を主導する絵所預(えどころあずかり)の職を世襲して権威を誇りました。その流れを受け継いで江戸時代前期に活躍したのが土佐光起(1617~91)です。光起は狩野派など漢画系流派の水墨表現や中国絵画の写実表現をとり入れてやまと絵の画題を一気に拡大し、幕末まで続く流派体制の基礎を整備しました。

本展では今年、生誕400年を迎えた光起を中心に、その子・光成らの清新、かつ繊細優美な画風に改めて注目し、雅やかな「和」の情趣にみちた近世やまと絵の魅力をご紹介します。光起の代表作として知られる《春秋花鳥図屏風》(写真D)をはじめ、近年修理が完成した重要文化財《大寺縁起》(写真F)、また寺外では初公開となる《松に猿図襖》(写真E)など総数50点余りが出品されるこの機会をどうぞお見逃しなく!

(知念 理)

助成

公益財団法人
POLA ART FOUNDATION



芸術文化振興基金助成事業

◆講演会

9月16日(土)

「土佐派の流れと光起」

講師 = 河田昌之氏(大阪芸術大学教授・和泉市久保惣記念美術館館長)

◆美術講座

9月17日(日)

「流派体制確立期の土佐派—光起と光成の画業」

講師 = 知念理(大阪市立美術館 主任学芸員)

時間: 各日とも午後2時—午後3時30分

◆見どころレクチャー

9月15日(金)、9月22日(金)、9月29日(金)

時間: 各日とも午前11時から30分程度

※いずれも会場は美術館1階講演会室
定員150名(申込不要、先着順、聴講無料、ただし、当日の本展観覧券が必要)